

日本天文学会年会予稿原稿用紙  
論文発表希望者の方へ（日本語で発表の方へ）

分野

キーワード

発表形式（該当するものに○）

- a. 口頭講演
- b. ポスター講演（口頭有）
- c. ポスター講演（口頭無）

講演者名（漢字、  
外国人はアルファベット）

姓（ひらがな、外国人はアルファベット）

名（ひらがな、外国人はアルファベット）

講演者所属（大学名、組織名）

予稿集の時間割部分に使われます。  
学部または同等の部局以下は不要です。  
（例 広島大学、理化学研究所、宇宙科学研究所）

会員種別（該当するものに○）

正会員・準会員・非会員

会員番号

（該当するものに○）

一般 ・ 学生

連絡先

Phone :

F a x :

Email :

住 所 :

旅費の補助 学生正会員のみ

旅費補助希望 無・有

出発地（希望者のみ）

# 記入例

## 日本天文学会年会予稿原稿用紙

(記入にあたっては、月報本文および裏面を参照のこと)

分野

キーワード

発表形式 (該当するものに○)

- a. 口頭講演  
 b. ポスター講演 (口頭有)  
 c. ポスター講演 (口頭無)

.....切り取り無効.....

.....切り取り無効.....

題名 氏名 (所属)	<b>IUE-IIIを用いた超新星スペクトルの統計解析</b> ○天文学 (道後大理)、近藤陽三 (大三島大工)、正岡四季 (坂の上の星天文台)
<p>本研究では紫外線衛星望遠鏡 IUE-III を用いた超新星の紫外線スペクトルの観測結果について報告する。IUE-IIIは口径1mの紫外線分光を中心とした軌道望遠鏡プロジェクトであり、2012年より既に2年間稼働中である。恒星、銀河、クエーサーのほか、突発天体 (超新星・新星・ガンマ線バーストなど) の分光観測においても活躍をしている。</p> <p>今回まとめたサンプルは2012年7月より2013年6月の間の1年にIAUサーキュラーに報告された1006個の超新星のうち、比較的明るい256個についてIUE-IIIでスペクトルを取得し、結果をまとめた。分光装置としては、広視野で面分光が可能な分光装置BOCCHANを用いた。超新星の型の内訳は、Ia型83個、Ib型21個、Ic型12個、II型131個 (内IIp型38個)、型不明9個である。スペクトルの総数は3742で、超新星1個あたりに平均すると約15スペクトルである。観測パラメータの詳細や、スペクトルをまとめた結果については、ポスターに示す。</p> <p>今回観測された中で、SN2012aagなど9個については、スペクトル分類においても、また他の望遠鏡による光度曲線による観測などの点からも、新種の超新星の可能性がある。また、Ia型超新星83個の紫外線スペクトルのデータを用いて、既存の超新星のデータベース (All-Z Supernova Cosmology Teamによる) のK補正などをやりなおした結果、WMAP他の宇宙背景放射の結果とあわせ、宇宙膨張パラメータとして、<math>\Omega_{\Lambda} = 0.70 \pm 0.01</math>、<math>\Omega_{\text{Matter}} = 0.31 \pm 0.007</math> を得た。</p>	

講演者名 (漢字、  
外国人はアルファベット)

天文 学

姓 (ひらがな、外国人はアルファベット)

てんもん

名 (ひらがな、外国人はアルファベット)

まなぶ

講演者所属 (大学名、組織名)

予稿集の時刻部分に使われます。  
 学部または同等の部局以下は不要です。  
 (例 広島大学、理化学研究所、宇宙科学研究所)

道後大学

会員種別 (該当するものに○)

正会員 準会員・非会員

会員番号 2121

(該当するものに○)

一般  学生

連絡先

Phone : 0422-31-5488

F a x : 0422-31-5487

Email : nenkai2003@nenkai.asj.or.jp

住 所 : 〒181-8588  
 東京都三鷹市大沢2-21-1

旅費の補助  学生正会員のみ

旅費補助希望  無  有

出発地 (希望者のみ) 温泉市

切り取り無効